

● 演習ワークシート

実習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：68 歳，男性

2 か月前から摂食時の嚥下違和感を自覚していた。違和感の増悪があったため受診する。内視鏡検査と組織診断の結果，胸部中部の進行食道がん（扁平上皮がん）と診断された。また，胸腹部 CT と PET-CT を施行したところ，気管支分岐部付近のリンパ節への転移を認めた。

そのため抗がん化学療法（DCF 療法）を 2 クール施行した。この療法期間中に無顆粒球症となり，G-CSF 投与を行い，回復をはかった。3 週間後，血中顆粒球数が回復し，画像検査でリンパ節転移巣の縮小を認めたため，原発巣に対する摘出術を施行することにした。

演習課題 1

患者の術前状態を評価してください。

●演習ワークシート

演習課題 2

手術は開胸，開腹による食道亜全摘を行い，領域リンパ節郭清と胸骨後胃管再建術を施行した．手術翌日午前中に人工呼吸器を離脱したが，同日夕方より急激な血圧の変化（70/50mmHg）と呼吸数の変化（25 回/分）を認めた．また，意識障害が増悪した（JCS II-20）．

動脈血分析を行ったところ，以下の結果だった．

pH 7.182, PaO₂ 76mmHg, PaCO₂ 50mmHg

BE (base excess) -8.4mmol/L (正常値-3.2~-1.8 mmol/L)

乳酸値 5.7 mmol/L (正常値 0.5~1.6 mmol/L)

術後の状態と検査結果を統合して評価してください．

演習課題 3

術後 2 日目朝に検査を行ったところ，以下の結果であった．

CPK 9677 IU/L, Cr 2.87 mg/dL, CRP 13.0 mg/dL, PT 31.3 秒, APTT 83.4 秒,
フィブリノゲン値 93 mg/dL, FDP 21.8μg/mL, 尿 375 mL/日

この検査結果を評価し，患者の術後の病態を考察してください．